



新年あけましておめでとうございます。
皆様のご多幸とご健康をお祈りいたします。
本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



トイレの改修工事が終わりました。
工事期間中はご不便をおかけしました。




●男子トイレ●女子トイレ
和式便器から洋式便器へ取り替え
パーテーション取り替え
蛇口、レバー取り替え






●多目的トイレ
便器の取り替え
床張り替え




これは何か
わかりますか？
正解は「こんにやく」

こんにやく作りを
されました。



センター前に大きな虹が現れました。
虹は太陽の光です。
太陽の光がたくさん粒に屈折（くっせつ）や反射（はんしゃ）をして虹ができます。
虹を見るとハッピーな気分になりますね♪

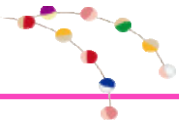


トイレ前にも
消毒を置いて
います。
ご利用下さい。

11月15日（火）
消防通報訓練を
行いました。

コロナウイルス感染拡大防止の為、利用条件や人数制限を設けております。
詳しくは、お問い合わせください。 1月4日より開館しています。
大淀町比叢327-1 電話0746-32-5189





1月関連の「今日は何の日」



第6回 1月27日 『ホロコースト犠牲者を想起する国際デー』

- 2005年11月に国連総会で採択されました。
- 憎悪、敵対感情、人種差別、偏見がもつ危険性を永遠に人々に警告することを目的としています。
- 1月27日はアウシュヴィッツのユダヤ人強制収容所が解放された日にちなみます。
(「アウシュヴィッツ」はポーランド南部の都市です。)
- ホロコーストとは、ナチス政権とその協力者による約600万人のユダヤ人の組織的、官僚的、国家的な迫害および虐殺を意味します。

「ホロコースト」とは、「焼かれないけにえ」という意味のギリシャ語を語源とする言葉です。

* アウシュヴィッツ強制収容所は1979年にユネスコの世界遺産に登録されています。

『二度と同じような過ちが起こらないようにとの願い』が込められています。

『ホロコースト』と聞いて、思い浮かぶものは何でしょうか？

小説

- アンネの日記

映画

- シンドラーのリスト
- 戦場のピアニスト
- ライフ・イズ・ビューティフル

また、ホロコースト記念館・記念碑が世界にあります。

(アメリカ・ドイツ・ウクライナ・イスラエル)

『日本の広島県福山市にもホロコースト記念館があります』

なぜ、広島県福山市にホロコースト記念館があるのでしょうか？

☆福山市の教会牧師であった大塚信さんは1971年4月、合唱団と共にイスラエル訪問中に、『アンネの日記』の著者であるアンネ・フランクの父オットー・フランクさん(1889～1980)と偶然出会ったことをきっかけに、以降交流を続けられました。そして、オットー・フランクさんの「アンネをはじめとする、犠牲となった150万人の子どもたちにただ同情するだけでなく、平和をつくるため何かをするひとになってください」との願いに、大塚信さんが応えたことがきっかけとなり開館された事に始まります。

◆ 1995年 日本で最初のホロコースト教育センターを福山市に開館

◆ 2007年 現在の記念館を開館

「なぜ人間は、おたがい仲よく、平和に暮らせないのだろう」

この言葉は、ドイツに生まれたユダヤ人の少女アンネ・フランクが『アンネの日記』に遺した言葉です。

多くのユダヤ人を救い、「東洋のシンドラー」と呼ばれるようになった人物がいます。

その名は杉原千畝(すぎはらちうね)と言い、2015年に俳優の唐沢寿明主演で『杉原千畝(スギハラチウネ)』で映画化されました。この、「シンドラー」とは人の名前で、オスカー・シンドラーと言う、ドイツ人の実業家で第二次世界大戦末期に多くのユダヤ人の命を救ったことで知られる人物からきています。また、彼がユダヤ人労働者の保護を申請するために作成したリストは『シンドラーのリスト』と呼ばれ映画化されました。

日本人は、原爆に対して幼少期から「平和教育」「平和学習」という名の中で教えられてきました。しかし、ホロコーストについて詳しい教育がなされていないため、「鈍感で無知である」と言われています。

この機会に読書や映画鑑賞等で、ホロコーストについて考えてみてはいかがでしょうか。